

Biodata Bank, Inc.

# PRESS RELEASE

vol.  
002

## 北海道マラソンにおける リストバンド型熱中症対策デバイスを用いた実証実験の実施

Biodata Bank 株式会社(代表取締役社長: 安才武志)は北海道マラソン事務局と共同し、独自に開発したリストバンド型熱中症対策デバイス『Biodata Band』を活用した、個人の特性にフォーカスした熱中症予防の実証実験(以下、「本実験」という)を実施いたします。本デバイスは環境省の「平成 31 年度熱中症予防対策ガイダンス策定に係る実証事業」で使用する機器として採択されております。北海道マラソンでのこの取り組みは、これまでの WBGT を用いたマスをターゲットに行う熱中症対策から、技術の進歩から可能となった個人をターゲットに行う新しい熱中症対策を普及させていくことを目的としております。

### 本実験の 概要

期 間 : 2019年8月25日  
場 所 : 札幌市内  
対 象 者 : 参加ランナー(アンケートの記入に同意いただいた方)  
実施主体 : 北海道マラソン事務局、Biodata Bank 株式会社、  
責 任 者 : 安才武志(Biodata Bank 株式会社 代表取締役社長)



# Biodata Bank, Inc.

## 本実験の目的、内容、期待される効果

北海道マラソンは、夏季に行われる数少ない本格的なレースです。札幌という比較的冷涼な環境ではあるものの盛夏においては気温が上昇し、参加者の熱中症リスクが高まります。実際に熱中症様症状で救護室の利用や、救急搬送を要する場合があります。そのような暑熱環境下で、熱中症の直接的要因である深部体温という部分に着目し、深部体温の上昇から熱中症になる前にアラートを鳴らすことで主体的な熱中症対策（スポーツ飲料水を飲む・日陰で休む）を促すリストバンド型熱中症対策デバイス\*『Biodata Band』を配布します。それにより個人々人への熱負荷を可視化することで安全なレースへの参加が可能になり、さらには熱中症に対する人々の意識、態度、そして行動の変化を分析し、新たな熱中症対策の提案と社会実装につなげることが目的です。

### 本実験の具体的な流れは下記の通り予定しております。

- ① 対象者に対してデバイスの取扱、実証実験の目的 / 意義に関しての説明を行う。
- ↓
- ② 年齢・性別・内服歴などの情報をアンケートにより取得。  
未成年者については保護者の同意を得る。
- ↓
- ③ デバイスを配布し、装着していただく。
- ↓
- ④ デバイスを装着した日の状況・行動およびデバイスの装着感・使用感をアンケートにより調査。
- ↓
- ⑤ 回収したデバイスからデータを採取。アンケート内容と照合し、統計学的に解析。
- ↓
- ⑥ 共同する機関に対して結果を報告。



本実験により、夏の暑い時期でよりも安全に負荷の高いマラソンレースへの参加を行う事が可能となります。また暑熱環境下における個人々人にかかる負荷と身体の状態、そしてアラートによる意識の変化と行動変容が明らかになり、個人のバイタルデータと連動した新たな熱中症対策の構築が進展し、ガイダンス策定などその社会実装に向けた道筋が具体化されます。

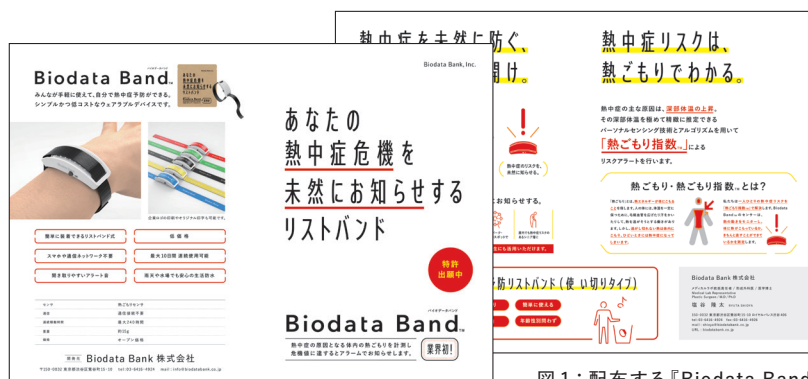


図1：配布する『Biodata Band』

本件に関する  
お問い合わせ先

#### Biodata Bank 株式会社

担当：塩谷隆太（メディカルラボ統括責任者）

電話：03-6416-4924 Email: shioya@biodatabank.co.jp HP: <https://biodatabank.co.jp/>